特定非営利活動法人 くびき野ＮＰＯサポートセンター

平成22年度　通　常　総　会

日時　平成22年５月20日 午後6時30分から
会場　上越市市民プラザ　第１会議室

総会次第

１．開会
２．理事長挨拶
３．議長選出
４．議事録作成人及び署名人
５．審議
　第１号議案　平成21年度事業報告承認の件
　第２号議案　平成21年度決算報告承認の件
　第３号議案　平成22年度事業計画承認の件
　第４号議案　平成22年度予算承認の件
６．閉会

もくじ

理事長挨拶　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

第１号議案　平成２１年度事業報告　・・・・・・・・・・・・　３～

総括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

市民のＮＰＯへの関心を高める事業　・・・・　８～

市民のＮＰＯへの支援を高める事業　・・・・　12～

地域に自主・自立したＮＰＯ法人を増やす事業　・・　14～

NPO PRESS 協賛一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

寄附者一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

第２号議案　平成２１年度決算報告　・・・・・・・・・・・・　18～

第３号議案　平成２２年度事業計画案　・・・・・・・・・・・　22～

第４号議案　平成２２年度予算案　・・・・・・・・・・・・・　24～

21年度をふりかえって

理事長　秋山三枝子

「最近NPOはどうですか？」と、聞かれます。「頑張っていますよ！」と返しながら、バブルともいえる期待と注目を集めていた時期から、本当の力が評価される段階に入ったと感じています。寄せられる相談内容も NPO 法人設立より、事業展開や組織運営の課題等が多く、対応に専門性が求められる事例が増えています。

くびき野 NPO サポートセンター自身も厳しい年度報告となりました。「ビジョン 2008」の実施初年度として臨んだ年度でしたが、結果として未達成が多く、22年度が正念場となります。新年度は「人と人の関係」に重点をおき、地域全体との関わりの中で、あらためて NPO の役割、くびき野 NPO サポートセンターの役割を構築し、「NPO 日本一のまち」に向け目標達成をめざします。

NPO法人に関する全国規模の大きな動きが２つあり、くびき野NPOサポートセンターは世話団体として関わっています。

ひとつは認定NPO法人制度改正の動きです。寄付者に税優遇がある「認定」NPO法人ですが、申請要件や手続きのハードルが高く、「認定」をめざすNPO法人がなかなか増えません。「もっと取りやすいように」と政府側からも声が上がり、改正に向けた議論が急加速しています。実現すれば、より多くの団体に取得の可能性が生まれます。

もうひとつはNPO法人会計基準策定の動きです。これまでNPO法人には会計基準が無く、団体によってバラバラでわかりにくい、と言われてきました。会計や税務相談にあたる全国の専門家と中間支援組織が検討を重ね、7月の策定をめざしています。

どちらも NPO 法人が信頼性を高め、多くの人から支援を受けるために必要な仕組みです。積極的に制度改正の気運を盛り上げていきます。

昨秋の市長選挙に際して「NPO と政治」の関係を改めて考えました。NPO 法の「宗教、政治を主たる目的とするものでないこと」の見解には、特定の候補者や政党の選挙活動に関わることを禁じているという意見と、団体の活動目的そのものが政治的なものでなければ問題ない、とする意見があります。理事会では「公職選挙において、組織として特定候補者を支持または支援しない」ことを決議し、個人の責任としました。しかし個々の NPO においては、社会的課題を解決するための必要性から、手段として政治的な活動を行うことは当然ありうることと考えます。

ビジョン2008の基本理念に「くびき野NPOサポートセンターは、市民参加型社会を創り出すために、その原動力となるNPOを支援し、NPOが活動しやすい環境を整える」とあります。制度面での追い風はあるものの、NPOが根付くには、まだまだ環境を整える必要があります。変わらぬご支援、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第１号議案　平成21年度事業報告

1. 事業実施の方針
これからの10年を見据えた「ビジョン2008」の実現に向け、今年度から事業項目を（１）市民のＮＰＯへの関心を高める事業、（２）市民のＮＰＯへの支援を高める事業、（３）地域に自主・自立したＮＰＯ法人を増やす事業、（４）くびき野ＮＰＯサポートセンターの運営に関する事業に再編成する。

重点項目として、
①会員の維持と拡大　②認定ＮＰＯ法人格取得と維持　③くびき野ぐるぐるファンドによる市民セクターへの資金調達
④ＩＴ環境の充実　⑤地域の市民活動に関する実態把握　　※◎で標記

事業名	内容・目標	実績及び評価	決算額（千円）
市民のNPOへの関心を高める事業			8,273
NPO PRESS制作	・活動に役立つ知識や情報などに関する連載コーナーを設け、紙面連載後、同テーマの講座を開催するなど、他事業との連携した紙面づくり。 ・情報量の少ない糸魚川市に情報提供者を複数確保し、情報収集を図る。 協賛広告：挨拶回り、営業訪問を強化し、PRESS広告および社会貢献としてのNPO支援を働きかける。 目標：広告訪問件数1200件 ＰＲサポーター30件	スタッフ数の減少に伴い、情報収集も少なくなってきている。糸魚川への訪問回数を増やすなど情報収集に努めたが、（PRESS的に）有効な情報は得られなかった。 広告料収入は目標450万円に対し291万円と大幅に下回った。 ●営業数1200件→746件、協賛広告30件→29件	4,122
NPO PRESS 全国発送	・全国各地のNPOや助成団体等に情報を発信するとともに、情報を取得することで紙面を充実させる。 ・費用対効果を見直し、発送先を精査する。 ・全国的なネットワークづくりと維持。	毎週NPOPRESSを全国の支援センター、財団法人、企業の社会貢献室など140件に送付	356
◎ WEBによる NPO情報発信	引き続き、最新のＮＰＯ情報を発信していく。また、地域のＮＰＯ団体の情報が閲覧できる「団体データベース」機能を整備する。 目標：年間訪問者15,000人 団体データベースへ30団体以上を登録	2010年１月から新ページに切り替えた。団体データベースの整備は来年度に持ち越し。 ①たシステムを一新。ネット環境があればどこからでも更新できるシステムに変更 ②助成金情報のスタッフブログの開設新設 ③訪問数、ページビュー、検索キーワードなどを分析するアクセス解析機能を追加 ●年間訪問者15,000人 →1月～3月訪問者：1,412	294
フォーラム	今年度は団塊の世代を中心とするシニアを対象としたフォーラムを行う。社会の第一線で活躍し、知恵も経験も豊富なシニアの力を地域の市民活動に活かしてもらう機運を高めることが狙い。形式については検討中。	新潟のお笑い集団「ＮＡＭＡＲＡ」代表の江口歩さんを講師に招き、高田世界館にて「『笑』は地域を救う　～江口歩の妄言録～」と題したチャリティートークショーを開催。参加者５２名	87
県域NPO情報公開紙	今回は試験的に対象を絞り紙面構成をする。カラータブロイド版８Ｐ製作形態の確立と市民への周知を図る。 定期的発行を可能にするべく配布先・広告収入の確保を図る。 目標：県内４万５千部の配布	今回は紙面づくりを１から見直し、カラータブロイド版8Ｐ「POPPLE」という製作形態をとって7月15日付で発行。スーパーや道の駅などで40,000部配布。プレゼント付アンケートの応募葉書は101通。「ＮＰＯのことがよくわかった」というコメントが多数寄せられた。今回の目的である、ＮＰＯの認知度を上げる役目は十分果たせたと考える。	704
上越市ボランティア 活動支援事業	引き続きボランティア相談とコーディネート、ボランティア・ニーズ調査を実施。その他NPO・ボランティアセンター団体登録に付随する管理を行なう。 ボランティア体験（預かりボランティア）やボランティアセンターからの情報発信などは本体の独自事業に移行させ展開する。 目標：ボランティアコーディネート400件	担当スタッフも３年目となり、開設時間短縮もボランティアニーズ調査や窓口業務など日常業務については今までどおり。窓口時間外の市民活動室利用については検討が必要。 ●ボラコーディネート400件→392件 年間施設利用数　約2,636件、11,156人	2,359
にいがた 出会いサポート	少子化対策として県が行う事業。独身男女の出会いを促進し婚姻率、出産率の向上を目指すもの。 上越地域で開催するものについて企画・運営を受託。	9月12日に赤倉観光ホテルを会場に開催。男女それぞれ15名、計30名が参加。同ホテルパティシエによる料理教室を通して自然な出会いの場を提供。４組のカップルが成立した。	351

市民のNPOへの支援を高める事業			**3,801**
くびき野市民活動 フェスタ	10周年の節目。原点に立ち返り、参加団体により組織される実行委員会が主体的に運営できるように、サポートセンターは事務局に徹する。 今年はイベント集中日を設ける。 数値目標：参加70団体 カラーチラシ10万部配布	8月8日から9月27日までの期間、44団体参加49企画で開催。9月23日に上越市市民プラザ全館貸切りでイベント集中日（27団体）。カラーチラシはポスティング、住民組織、小中学校を通じ、56,440部を配布。協賛は27社。 【数値目標】70団体　来場者15,000人 【実績】44団体　来場者不明	527
NPOツアー	・議員向けのツアーは上越市だけでなく、妙高市・糸魚川市にも呼びかける。 ・親子連れなど子育て世代の方にNPOに関心をもってもらえるような計画を実施する。 ・教師・学校向けはコーディネート用のプログラムを企画する 目標：年間6回のツアー開催 参加者120名	7月29日に第１回目のツアーを行った。参加者11名。10月上旬　妙高市議向けツアーを提案したが、今年度は難しいとの回答。11月17日市民向けツアーを計画したが、参加人数が少なく中止。 【数値目標】６回開催　120名参加 【実績】１回開催　11名参加	69
◎　ぐるぐるファンド	【ひとくちファンド】 ＰＲパンフレットを作成し、昨年以上の総額100万円の達成を目指す。 【冠ファンド】 寄付金を元に冠ファンドを設立する。年間100万円の助成を目指す。 【おまかせファンド】 NPOスタッフ育成支援のために、研修費助成。20万円の助成を目指す。	５月に定額給付金キャンペーンを行い、３万３千円の寄付を集めた。12月より「ひとくちファンド」を開始。７団体125万円を目標に募集を開始した。現在13万2千円。冠ファンドは設立できなかった。 「広く市民から寄付を集める」と「大口のスポンサーが満足する助成」の両方をひとつの事業体で行うことは現実的に困難。事業の見直しが必要。	422
地域活動体験 コーディネーター	県から受託。くびき野地域に地域活動体験コーディネーター設置し、コーディネート活動、プログラムの広報等を行う。初年度は、小・中学校を対象に調査を実施。 目標：くびき野地域の全学校への調査 受け皿となる団体の把握	平成21年度は、地域のＮＰＯ団体へのヒアリングを中心に情報誌「はぴねす」を2回、情報冊子「別冊はぴねす」発行。 2月26日には情報交換会（参加40名）も開催した。 ●コーディネート数　16件（延べ372人）	2,783
地域に自主・自立したNPO法人を増やす事業			**468**
法人設立、運営相談	相談対応ができるスタッフを１名から３名に増やすため、スタッフの研修を行なう。また、今の相談業務（無料）に加え、NPO法人を設立しようとする団体の希望に応じて、設立プロセスへ様々な支援（有料）を行なっていく。 相談内容の記録を記すことでNPO法人の設立運営に関するテキストの資料とする。	専門性を有する相談業務について、十分な時間をとることができず、相談員の育成は実現できなかった。引き続き、中心スタッフの定着が課題。 【相談件数】52件	86
講座	・現場スタッフと理事の役割について ・チラシの作り方講座（連続講座） ①キャッチコピー センスアップ編 ②デザイン センスアップ編 ・収益を図ろう！商品開発・販売促進講座 ・NPOスタッフのための接客・対応マナー講座 数値目標：年間参加180人	７月「現場スタッフと理事の役割」（35名） 11月「現場の「運営力」強化セミナー」（３講座延べ61名） 【目標】年間参加180人 【実績】年間参加者96名	312
講師派遣	サポートセンター関係者の講師派遣を進める。 数値目標：25件の派遣	行政やNPO主催の講演会など１３件の講師派遣を行った。また行政や大学関係者など５件の視察を受け入れた。	25
協働環境の整備	各市町村でNPO が関わりをもつ行政事業の実態を調査する。	上越市、妙高市の協働推進担当課と意見交換を行った。H22年度には協働でNPO・ボランティア団体実態調査を行う予定。	45
地域の元気	分野・地区別に団体の実態調査（ﾋﾔﾘﾝｸﾞ→ﾏﾄﾘｯｸｽ→ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ）を くびき野地域の団体・NPO法人を地区・分野別に調査し、地域の市民力を測る。	今年度は手付かずに終わる。H22年度のNPO・ボランティア団体実態調査をもとに再度練り直し。	0

くびき野NPOサポートセンターの運営に関する事業			**308**
◎ 会報「雁木のように」発行	ボランティア中心に編集チームを組み、編集会議・取材等を行い、たくさんの会員が登場する紙面づくりとする。配布先も会員にとらわれず、ネットワークを通じて多様な場に配布し、日常的に目に留まるようにしていく。 目標：年６回発行する。 配布箇所の増加	年間６回発行（過去最高発行回数）の目標はクリア。企業会員の協力により、カラー版も発行。当初計画していたボランティア中心の編集は困難。 【目標】年６回発行　各700部 【実績】年６回発行（見込み）各500部	162
◎ 会員拡大	会員目標：個人会員140、団体会員85、企業会員140	6月　会員拡大期間 1月　会員向け交流会開催 個人会員116(+10，-22) 企業会員109（+5，-16） 団体会員64（+4，-14）	146
その他		H20年度事業（ＣＧＰシンポ）報告書作成	**196**
◎ 認定NPO法人の維持	今年度、再申請を行う。	12月に再申請を提出。２月に再認定を受けることができた。	
総会	年１回	5月　・全会員	
理事会	年間8回	年間７回の理事会を開催した	

他団体主催の事業、会議への参加		
市民団体	市民協働委員	
	くびき野こどもネットワーク	
民間	ユートピアくびき振興財団　評議員、助成金等審査員	
	社会福祉法人さくら園　理事	
	社会福祉法人上越市社会福祉協議会　理事	
上越市	上越市社会教育委員　/　上越市公民館運営審議委員	
	上越市市民プラザ全体運営委員会　委員	
	トキめき新潟国体上越市実行委員 常任委員　/　上越サポート運動推進協議会	
	上越市障害者自立支援協議会　委員	
	上越市新年祝賀会実行委員会　委員	
	上越市表彰審査会　委員	
県内	新潟県公益認定等審議会　委員	
	新潟県勤労者福祉厚生財団　NPO等助成事業選考委員	
	妙高市地域の元気づくり活動助成事業　審査員	
全国	ＮＰＯ／ＮＧＯ法制度に関する連絡会　地域幹事団体	
	ＮＰＯ法人会計基準協議会　世話団体	
	日本ＮＰＯセンター　理事	

事　業　総　括

1. 市民の NPO への関心を高める事業

NPOPRESS の支援広告が４ページとなって以来初めて年間 300 万円を割り込み、例年比マイナス 100 万円となりました。年会費と並び、この広告料が当センターを支える大きな財源となっており、今年度は営業活動を一層強化し、支援者を開拓していきます。

また、厳しい財政状況の中、昨年未達成となったホームページのリニューアルについては予算を圧縮するかたちで行い、2010 年１月から新ホームページを開設。旧ページに比べ更新頻度が大幅に増え、NPOPRESS と連携した情報発信が可能となりました。

2. 市民の NPO への支援を高める事業

2008 年度から開始した「くびき野ぐるぐるプロジェクト」の中でも、ＮＰＯツアーやぐるぐるファンドなどを軌道に乗せることを念頭に目標を立てましたが、人員体制の限界もあり、目標とした事業遂行ができませんでした。NPO が様々な事業に拡大していく中、市民が NPO を財政面でも支えていくしくみが益々求められており、支援センターとして、より一層の努力が求められます。一方、両事業とも採算性が乏しく、今年度は事業の遂行に並行して、それらの事業費にあてていく会費収入等を確保していきたいと考えています。

3. 地域に自主・自立した NPO 法人を増やす事業

当初予定していた講座について、事務局で再度練り直しを行い、当センターの運営にも照らし合わせて、NPO に必要な「事業を実行していく現場力」に着目した講座を開催しました。11 月に行ったセミナーには新潟市などからも参加者があり、内容の濃い講座となりました。一方、ここ数年地元での参加者が伸び悩んでおり、呼びかけへの工夫と努力が課題となっています。

4. センター運営に関する事業

会員拡大に関しては、昨年以上に厳しい結果となりました。不況の影響もありますが、会員の拡大や維持への具体的なアクションが不足していたことも大きな原因でした。NPOPRESS 支援広告同様、当センターを支える財源であるとともに、NPO への理解者を増やす活動にもつながるだけに、今年度の建て直しが必要となっている。

市民のNPOへの関心を高める事業

NPOPRESS 制作

掲載記事一覧

月日		TOP	市民活動図鑑、トピックスほか	リレートーク、ほか
4月	6	定額給付金を地域のNPOに寄付しませんか？	（図鑑）上越ふれあい混声合唱団 上越青年会議所主催講演会 新潟薬膳食療研究会	おめでとう！NPO 法人 ・上越メンタルネット ・春日サッカーコミュニティ
	20	・幸せのカラーチップ運動 ・NPO魚沼ゆうき（有機米苗提供）	（図鑑）たつの子手話の会 新井青年会議所ギネス記録 哲学の森の活動	（リレー）小泉和弘 （ボランティア）エコトピア上越
	27	・ゴールデンウィーク「行ってみよう！」 ・フェスタ 2009 参加団体募集開始！	（図鑑）はねうまキャンプ実行委　員会 ・信越化学労働組合	（リレー）河端誓子 （NPO 特選）こんなのいかが
5月	4	・幸せのカラーチップボックス設置団体決定（5月1　日スタート） ・奴奈川青年会議所（ 公開対談紹介 ）	（図鑑）上越詩を読む会 ・みどりのフェスティバル ・NAMARA 公演紹介	（リレー）樋口綾子 （企業の社会貢献）㈲フクザキ
	11	・花と緑で　すてきな地域づくり （やすづか花の会、 丑歳の会ほか）	（図鑑）くびき野フォーク村 ・エコキャップ新潟活動レポート 哲学の森の活動	（リレー）近藤健司 （ボランティア）ボラセンで古着利用の布巾作成
	18	・地域の NPO& 団体が取り組む 身近な環境（ 環境 NPO 活動紹介 ）	（図鑑）NPO 法人 WASEDA CLUB 北信越支部チアリーディングスクール ・たんぽぽなないろコンサート	（リレー）歌代　恵 （企業の社会貢献）㈲竹美運輸
	25	・NPO 法人の申請・ 認証　県から市町村に進む権限委譲 ・上越青年会議所（ 社会的起業講演会予告 ）	（図鑑）糸魚川シチュエーションロードムービーズ ・食の工房ネットワーク親子田植え	（妙高市）元気作り活動助成金決定 （このとき・この人）森の案内人あぶらちゃん
6月	1	平成 21 年度くびきの NPO サポートセンター **通常総会報告**		（リレー）佐藤昌美 （NPO 特選）こんなのいかが
	8	・NPO 法人りとるらいふ新事業・ 紹介 ・NPO 法人えちご若者元気塾・ 開所（ 本格始動 ）	（図鑑）演劇サークル「いろり座」 ・素人芝居大浦安「出前公演」 ・上越プラネット海岸清掃	（リレー）柳澤美直代 （ボランティア）介護老人福祉施設和久楽
	22	・大潟町ジュニアリーダークラブ・ 大潟かっぱ　祭りでごみ回収・ 洗浄 ・補助金活用で佐渡の NPO と交流	（図鑑）上越マジシャンクラブ ・田尻佳史氏迎え講座会社の告知 ・スプーンフィールド紹介	（リレー）石橋康子 （このとき・この人）上越ホタルの会
	29	・NPO 見学バスツアー平成 21 年度第1回開催　のお知らせ ・日本損保代理業協会主催映画上映のお知らせ	（図鑑）新井くびき野押花会 ・たんぽぽ4　周年フルートコンサート　ほか	（リレー）平原辰成 （妙高市）裁判員制度相談会、妙高フォトコミッション
7月	6	・NPO　法人国際フリースクー ル　ICAN・「親のしゃべり場」紹介　・ 新潟県勤労者福祉厚生財 団・ 平成 21 年度 NPO 助成事業・ 助成先決定	（図鑑）建築と子どもたち」ネットワーク上越 ・ファシリテーション講座開催 紹介	（リレー）保坂清美 （NPO 特選）こんなのいかが
	13	・この夏親子で友達と NPO の夏休みイベント集	（図鑑）上越映画鑑賞会 ・雁木ネットワーク（風鈴街道） ・県内アカペラサークルの祭典	（講座）田尻佳史氏講座内容 （ボランティア）「毬の会」「大潟ジュニアーリーダークラブ」
	20	・NPO 法人の会計基準協議会 ・NPO 雪のふるさと安塚・設立 5 周年記念講演会	（図鑑）NPO　法人障害者自立支 援センターオアシス上越支部 ・ICAN スタディツアー	（リレー）坂井芳美 （このとき・この人）「いのちのまつり」高島信之
	27	NPO ウォッチ「POPPLE」発行 ・妙高市の 3 作業所が合併	（図鑑）青田川を愛する会 ・和太鼓奏者 Ryojin 公演の知らせ	（リレー）市川純子 （妙高市）「市民活動サロン」が盛況
8月	3	・NPO バスツアー「頸城の魅力発見の旅」実施 ・越後高田町家三昧「夏の巻」告知	（図鑑）上越スポーツチャンバラ協会・疾風会 ・はまなす文庫・夏のお楽しみ会	（リレー）笠原謙二 フェスターイベント紹介第 1 回
	10	・夏休みのイベント＆ボランティア ・NPO　法人マミーズネット「保育ボランティア入門講座」告知	（図鑑）NPO 法人妙高かいけつ市民団 ・NPO 法人えちご若者元気塾相談会 ・新潟出会いサポート事業企画紹介	（リレー）池上さ和 フェスターイベント紹介第 2 回

8月	24	・ひとくちファンド 2009 参加団体募集 ・パナソニック半導体労働組合新井支部が「愛の募金」寄贈	（図鑑）子どものためのリトミック教室 ・NPO 法人りとるらいふ「森とみんなのコンサート」	（リレー）高倉恵理子 フェスターイベント紹介第 3 回
	31	・NPO の財政基盤強化を検討（県内中間支援センターがワークショップ） ・NPO 法人新潟県災害救援機構が防災訓練	（図鑑）フォーク愛好仲間 ・ますやお話し会 ・「おりづる」チャリティーコンサート	（リレー）丸山義一 フェスターイベント紹介第 4 回
9月	7	・NPO 法人支援センターあんしん」・トイレットペーパー購入で福祉に参加を ・妙高市姫川原元気市場開店	（図鑑）須弥山太鼓保存会 ・妙高野外音楽祭開催告知	（リレー）加藤謙二 フェスターイベント紹介第 5 回
	14	くびき野市民活動フェスタ 2009 9 月 23 日イベント集中日のお知らせ		おめでとう！ NPO 法人 ・虹色の心 ・ふるさとづくり妙高
	21	・NPO 法人えちご若者元気塾・13 区でニート・ひきこもり出張相談会 ・NPO 法人緑とくらしの学校・来年度入園者募集	（図鑑）北国街道の手をつなぐ会 ・高田小町ライブ紹介 ・チーム絆の活動	（リレー）大島美香 フェスターイベント紹介 9/27
	28	くびき野市民活動フェスタ 2009 開催結果報告		（リレー）梅津一久 南さくら工房イベント告知
10月	5	・ひとくちファンド 20097 団体が寄付を募集	（図鑑）一義会 ・浦川原・月影芸能祭り ・フェスタで協力コーヒー代を寄付	（リレー）横山とも子 おめでとう！ NPO 法人 ・よもぎの会・街中映画館再生委員会
	12	・NPO 法人骨髄バンクサポート新潟・斉木さん念願の出版 ・NPO 法人ふるさとづくり妙高・コミュニティバス運営開始	（図鑑）幸町はすの実会 ・NPO 法人あにまるねとワーク・ポニーズ／国体馬術会場にポニー出場	（リレー）白石絵里 花ロードに NPO が出展 ・ハッピークローバー公演告知
	19	・非営利活動のためのセミナー開催・企画告知	（図鑑）夢をかなえる会 （企業の社会貢献）ユアテック上越営業所　ほか	（リレー）横山裕孝 （NPO 特選）こんなのいかが
	26	・ふるさとづくり上越大会実行委員会	（図鑑）ラブ・クロス ・ゆめくる広場づくり ・ポニーの絵画展	（リレー）村越洋一 （ボランティア）フィリップモリスジャパン㈱上越ユニットの活動
11月	2	（特別寄稿）中越地震から 5 年を迎えた中越より／中越復興市民会議代表・稲垣文彦	（図鑑）上越アイスホッケースポーツ少年団　（妙高）国際自然環境アウトドア専門学校の研究	（リレー）田辺慎一 （市民プラザにて）上越プラネット環境フェスタ、防災トレーニングフェア
	16	・NPO 法人素人芝居大浦安本公演・告知	（図鑑）妙高フォトコミッション ・NPO 法人よもぎの会体験教室 ・NPO 法人マミーズネット IT 講習会	（リレー）大矢かおる ・子どもゆめ基金 ・エコライフフェア
	23	上越青年会議所が社会企業化をテーマにしたセミナーに期待	（図鑑）原通自治会 ・「現場の『運営力』強化セミナー」開催報告	（リレー）近江ひかる （イベント）「いのち・愛・人権」上越展開催
	30	（特別寄稿）政権交代と障害者福祉系 NPO の未来／りとるらいふ理事長・片桐公彦	NPO 法施行から 11 年 ・チベット難民の映画上映 ほか	（リレー）太田泰子 （妙高市）親子手づくり絵本教室、スキルアップ講座
12月	7	（特集）冬の楽しいイベント（よもぎの会、かみえちご山里ファン倶楽部、市民オペラほか）	（企業の社会貢献） ・株式会社東光クリエート ・明治ホールディングス株式会社	（リレー）滝沢清一 （ボランティア）JOIN 発送ボランティア
	21	（特集）私がこだわっているモノ・コト	（図鑑）名立太鼓 ・NPO 法人イーバーツが ICAN にパソコン寄贈	（リレー）渡部不三雄 （企業の社会貢献）㈱ガリバーインターナショナル
	28	（特集）ことしの NPO 活動を振り返る	（図鑑）牧区内水面氏原理活用研究会 ・「チーム絆」が障害者施設にポニーサンタ派遣	（リレー）市橋裕文 （妙高市）「地域の元気づくり活動助成事業」3 団体紹介
2010 1月	4	謹賀新年／今年の抱負 （横田聡子、宮内尚幸、唐鶴英、猪俣直登、東條麗子、松田典子		おめでとう！ NPO 法人 ・ほっと妙高 ・清里まちづくり振興会

2010 1 月	11	（特集）助成金を活動のチカラに／エコネット上越、素人芝居大浦安、あにまるネットワーク・ポニーズ	（図鑑）育児サークル天使のほほえみ ・りとるらいふ作品展	（リレー）霜鳥弘道 コミュニケーション術①（竹内義晴講座）
	18	（特集）高齢者福祉・介護事業を支える若者たち	（図鑑）上越農業・生活改善グループ連絡会	（リレー）野崎　正 （ボランティア）上越市立高田図書館他
	25	NPO法人情報公開特集（4面～7面全部）		
2 月	1	・こども＋NPO＝まち元気（地域活動体験コーディネーター設置事業） ・大手町小学校・本町ドリームショッに出店	（図鑑）ライオン像の建物をまちづくりに活かす会 ・吉川・夢をかなえる会ライブ案内	（リレー）新野武宣 コミュニケーション術②（竹内義晴講座）
	15	・NPO 法人森のようちえん「てくてく」のお引越し ・24 時間テレビがくびき野地域の3 NPO 団体に福祉車両を寄贈	・新潟労災病院が「市民公開講座」を開催 ・上越市の協働環境は…。	（リレー）佐藤あゆみ コミュニケーション術③（竹内義晴講座）
	22	（特集）地域の子育て事情 ・㈱第一印刷がライスインクを推奨	（図鑑）妙高コラボレーション （妙高市）私たちのまちを元気にしたい！」の活動報告会	（リレー）吉田綾子 （ボランティア）サローネ・ディーノ、サンクス高田、ジョーク峰
3 月	1	・新潟いのちの電話後援会上越支部の活動／有沢栄一 ・久比岐野観光ガイドの会「散策会」の紹介	（図鑑）温泉ソムリエ協会 ・NPO 法人りとるらいふ「インヴォルブメント・フォーラム 2010」紹介	（リレー）室橋麻紀 ・上越親子劇場鑑賞日程
	8	・「NAMARA」講演会紹介 ・NPO 法人よしかわたすけあい「地域の茶の間」オープン	（図鑑）ナディアの会 ・「よもぎの会」10 周年記念感謝祭開催紹介	（リレー）小林実穂 コミュニケーション術④（竹内義晴講座）
	15	・期待高まる！ NPO への寄付、税軽く	（図鑑）山里案内人会「妙高自然ソムリエ」 ・春を呼ぶ、温かい音楽の集い	（リレー）青山聡子 （ボランティア）こんなボランティアができます「ギターアンサンブル翼」
	22	地域のNPO、この春からの新事業 （ほっと妙高、かみえちご山里ファン倶楽部、頸城野郷土資料室、街中映画館再生委員会）		（リレー）山岸美幸 NPO 法人会計基準
	29	観桜会・もうひとつの魅力紹介	（特集）りとるらいふ 新拠点でサービス開始	（リレー）丸山　祥 （ボランティア）こんなボランティアができます「エコトピア上越」

NPOPRESS 全国発送

毎週ボランティアの協力により（毎週月曜日、上越市ＮＰＯ・ボランティアセンター「預かりボランティア」）、上越タイムス月曜版「ＮＰＯＰＲＥＳＳ」を全国のＮＰＯ支援センターや企業のＣＳＲ担当部署、助成財団など１４０箇所に送付しています。

ＷＥＢによるＮＰＯ情報発信

更新の簡素化と作業の一元管理による更新頻度の向上を目的にホームページをリニューアル。2010 年１月から新ページに切り替えました。これまで業者に依頼しなければ更新できなかったシステムを一新。ネット環境があればどこからでも更新できるシステムに変更。助成金情報やスタッフブログも新設しました。また訪問数、ページビュー、検索キーワードなどを分析するアクセス解析機能が強化されました。

フォーラム

新潟県内を中心に、全国初の地方お笑い集団としてテレビ、ラジオ、イベントなどで活躍しているお笑い集団「ＮＡＭＡＲＡ」代表の江口歩さんを講師に招き、高田世界館を会場に３月３０日、「『笑』は地域を救う　～江口歩の妄言録～」と題したチャリティートークショーを開催しました。後半は会場となった高田世界館を管理運営するＮＰＯ法人街なか映画再生委員会の岸田代表とのトークセッションも。参加者５２名。

県域ＮＰＯ情報公開紙

今回は紙面づくりを１から見直し、カラータブロイド版８Ｐ「POPPLE」という製作形態をとって７月 15 日付で発行。スーパーや道の駅などにて配布。プレゼント応募によるアンケートを実施したところ応募葉書は 101 通に達し、「ＮＰＯのことがよくわかった」というコメントが多数寄せられた。今回の目的である、ＮＰＯの認知度を上げる役目は十分果たせたと考える。

ボランティア活動支援委託業務（上越市ＮＰＯ･ボランティアセンター）

上越市市民プラザ２階にある NPO・ボランティアセンターと市民活動室の管理運営、ボランティア情報の収集および提供、ボランティア相談、コーディネートを行なう。

今年度から上越市の意向により窓口開設時間が１日８時間から６時間へ。また日曜祝日も休みとなりました。開設時間が少なくなる中、情報発信や窓口相談などの件数は減少しました。

ボランティアコーディネートその他相談	ボランティアニーズ収集	団体登録関係	その他対応	市民活動室利用回数	利用人数
392 件	184 件	95 件	568 件	1,745 件	10,237 人

にいがた出会いサポート事業　Resort de Sweets

少子化対策として新潟県が行う、独身男女を対象とした事業。赤倉観光ホテルから協力を得て、9 月 12 日同ホテルを会場に開催。男女それぞれ 15 名、計 30 名が参加しました。同ホテルパティシエによる料理教室を通して自然な出会いの場を提供。なごやかなムードの中、４組のカップルが成立しました。

市民のNPOへの支援を高める事業

くびき野市民活動フェスタ

８月初旬より９月末までの期間、４４団体参加４９企画で開催。９月末に上越市市民プラザ全館貸切りでイベント集中日（２７団体)。カラーチラシはポスティング、住民組織、小中学校を通じ、56,440部を配布。協賛は２７社。

実行委員会主体の意識が薄れつつあり、今年度も事務局の負担が大きくなっている。これまで団体の参加動機であった「情報発信」という共通課題が解消されつつあり、加えてカラーチラシの全戸配布が困難になってきていること、マンネリ化、一部実行委員に負担が集中するなど問題点も。今後、団体参加と実行委員会主体の運営に向け、どう動機付けしていくか検討が必要。

ＮＰＯツアー

7 月 29 日に頸城区のＮＰＯ法人が携わる自然・食文化・文化財を巡る「頸城の魅力発見の旅」を開催しました。参加者 11 名。その後、妙高市議向けツアーを提案したが、議会の都合もあり今年度は実現しませんでした。また 11 月に２回目の市民向けツアーを計画したが、参加人数が少なく中止。

地域活動体験コーディネーター

上越・妙高・糸魚川を対象に、学校に対し NPO の実施する体験プログラムの活用を積極的に働きかけるためのコーディネート事業。くびき野地域のＮＰＯ法人７６団体へのヒアリングをもとに情報誌「はぴねす」を年２回発行。３市の小中学生全員に配布しました。また、学校関係者とＮＰＯ関係者の相互理解促進を目的とした意見交換会も開催。参加者４０名。ＮＰＯの子ども向けプログラムを集めた情報冊子「別冊はぴねす」も発行しました。

年間コーディネート数 16 件（延べ 372 人)。

くびき野ぐるぐるファンド

５月に定額給付金キャンペーンを行い、ジャスコ・アコーレの中央広場にてＰＲ活動も行いました。昨年に引き続き 12 月より「ひとくちファンド」を開始。７団体１２５万円を目標に募集を開始した。現在１６万５千円が集まりました。

今年度目標としていた大口寄付による公募型助成金「冠ファンド」は設立できませんでした。「広く市民から寄付を集める」と「大口のスポンサーが満足する助成」の両方をひとつの事業体（小規模な）で行うことについては検討が必要。

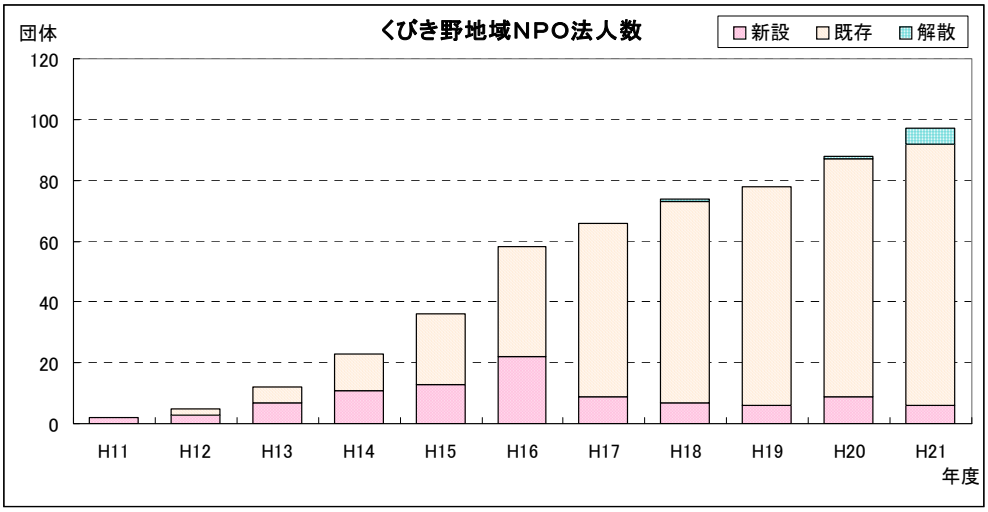
【くびき野ぐるぐるファンド収支計算書】

科　　目	金　　額		
【収入の部】			
定額給付金キャンペーン寄付		12,000	
ひとくちファンド寄付		165,000	
その他寄付		82,950	
収　入　合　計			259,950
【支出の部】			
助成金			
あにまるﾈｯﾄﾜｰｸ ﾎﾟﾆｰｽﾞ	84,950		
りとるらいふ	60,000		
緑とくらしの学校	35,000		
国際ﾌﾘｰｽｸｰﾙ I CAN	17,000		
フェニックス	17,000		
さいがたぬくもりの会	15,000		
上越国際交流協会	14,000		
よしかわたすけあい	9,000		
マミーズ・ネット	8,000		
助 成 金 合 計		259,950	
支　出　計			259,950
当期収支差額			0

地域に自主・自立したNPOを増やす事業

ＮＰＯ法人設立･運営相談

新たに誕生したＮＰＯ法人は６法人。解散法人は５団体（うち３団体は合併)。ＮＰＯ法人はほぼ横ばい。年間の相談件数は５２件。内容もＮＰＯ法人設立から運営相談や事業の展開についてのものが目立つようになり、対応にも専門性が求められるようになってきています。相談対応のスタッフ増員が引き続き課題となっています。



講 座

７月３日に日本ＮＰＯセンター事務局長の田尻佳史さんを講師に「現場スタッフと理事の役割」を開催。参加者 35 名。
11 月 15 日には、ＮＰＯが事業を展開していくために役立つ運営ノウハウを学ぶ３つの講座からなる「現場の「運営力」強化セミナー」を開催。田尻佳史さん（特定非営利活動法人日本 NPO センター　理事・事務局長)、片桐公彦さん（特定非営利活動法人りとるらいふ　理事長)、川北秀人さん（IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］代表）が講師。３講座延べ 61 名が参加。

視察受入

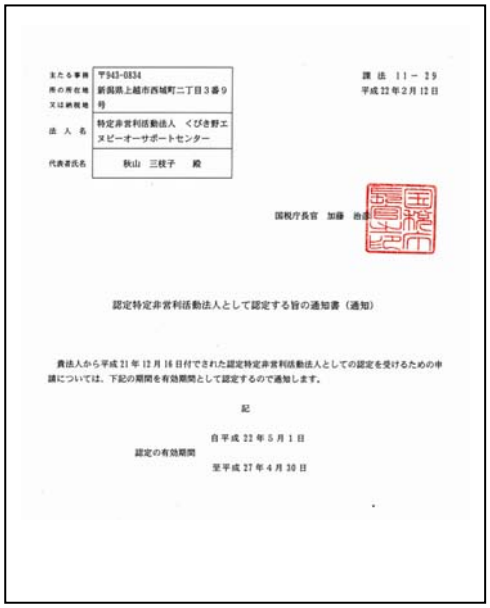
羽咋市市民活動支援センター
新発田市市民まちづくり支援課
十日町市協働のまちづくり推進プロジェクト委員会
高崎経済大学地域政策学部
宇都宮大学大学院工学研究科

講師派遣

5 月 22 日	NPO法人りとるらいふ 「管理職向け研修会」	大島
6 月 19 日	地域紙交流会 「信頼関係があって続けられた紙面づくり」	秋山
7 月 6 日	長野県NPOセンター 「めざせ！認定NPO法人」セミナー	秋山
7 月 12 日	板倉まちづくり振興会　板倉まちづくりフォーラム 「ステージは回った　～行政主導から市民主導へ～」	秋山
9 月 4 日	妙高市市民活動支援センター　地域づくりフォーラム 「地域の元気は、市民と行政の協働によるまちづくり」	平野
9 月 8 日	新潟県市町村事務組合「NPO から見た住民と行政の協働」	秋山
10 月 7 日	東京大学大学院情報環境　メディア研究のつどい「新聞社×NPO」	秋山
10 月 9 日	上越教育事務所　学校支援ボランティア・地域コーディネーター養成事業	吉田
10 月 29 日	国際自然環境アウトドア専門学校　自然環境教育研究「NPO基礎講座」	近藤
11 月 3 日	矢代川の桜を保存する会（仮称）「NPOとは」	近藤
11 月 14 日	北条地区コミュニティ振興協議会　北条ネット市民レポーター養成講座	秋山
12 月 13 日	NPOさんじょう　さんじょう市民活動大交流会 「中間支援組織が切り開く地域の未来」	大島
2 月 16 日	上越市自治・地域振興課　協働に関する勉強会 「『協働』の言葉にとらわれず、目的に向かって『協働作業』を」	秋山

認定ＮＰＯ法人の再認定

定ＮＰＯ法人格の再認定に向け、申請を行いました。申請に伴い行われる国税庁からの監査も無事終了し、２月 12 日付けで再認定を受けました。今回の有効期限は平成 22 年５月から平成 27 年４月末まで。



主たる事務所の所在地又は納税地　〒943-0834 新潟県上越市西城町二丁目３番９号

法人名　特定非営利活動法人　くびき野エヌピーオーサポートセンター

代表者氏名　秋山　三枝子　殿

課法 11－29
平成22年2月12日

国税庁長官　加藤　治彦

認定特定非営利活動法人として認定する旨の通知書（通知）

貴法人から平成21年12月16日付でされた認定特定非営利活動法人としての認定を受けるための申請については、下記の期間を有効期間として認定するので通知します。

記

認定の有効期間　自平成22年5月1日　至平成27年4月30日

NPO PRESS協賛広告

ご支援ありがとうございます

（敬称略）

上越ライフサポートセンター（連合上越）
医療法人社団愛クリニック
城下町高田花ロード実行委員会

㈲わかなみ　社会福祉法人りとるらいふ　㈱丸山酒造場
東北電力㈱上越営業所　㈱井手塾　上越ケーブルビジョン㈱

あにまるネットワーク・ポニーズ　おひさま耳鼻咽喉科　㈱植木組上越支店　㈱二幸住建　㈱バーツプロダクション　㈱ほうとく　雪だるま高原キューピッドバレイ　くびき野市民活動フェスタ 2009　高坂防災㈱　（財）新潟県勤労者福祉財団　（福）上越あたご福祉会直江津愛宕園　大同生命保険㈱上越営業所　㈲五十嵐金物店　㈲京美容室　㈲月徳飯店　新潟県労働金庫直江津支店　㈱木村板金工業　㈱平八　素人芝居大浦安　エルリーノ加藤㈱　（合）竹田酒造店　㈲御菓子処かの子　エコネット上越　㈱大島ホケン　ファシリテーション・アイゴ

一（いち）　大島自動車販売㈱　御菓子司紅久　㈱赤倉観光ホテル　㈱内山ホーム　㈱上越シビックサービス　割烹旅館晴山荘　㈱保坂工務店　新潟県セパタクロー協会　㈱リボーン　霧下そば本家　司法書士江口尚也事務所　（福）にいがた寿会いたくら桜園　エイブル英会話クラブ　昭和懐物ランドこどもの時代館　新潟県総合生活協同組合上越支局　大栄建設㈱　大和物産㈱　とん汁の店㈲たちばな　肉のひらさわ支店　原矯正歯科　ホンダウォーク上越店　三井企画㈱　㈲石倉製麺所　㈲北陸園芸　㈲リフォーム 119　養老乃瀧（直江津店）　㈲ヨシダヤペット　リラックスフロア・ポポラーレ　㈱新興運輸　㈲白金堂　くびき野温泉開発株式会社門前の湯　骨髄バンクサポート新潟

㈱アイシン　㈱ケーナール　㈱謙信堂　㈱ジェイテック　㈱橋本園芸　㈱平林塗装　㈱丸互　㈱水嶋電気工事　島津工業㈱　日本トラベルサービス㈱　㈲上越ハイキー　㈲正香園　㈲フクザキ　ポプラの家

エコトピア上越　NPO 上越食育ネット　あおぞら CULB　板倉のぞみ会　うらがわらスポーツクラブ　えちご妙高会　女のスペース・じょうえつ　協同組合新潟県異業種交流センター　くびきのお宝のこす会　さんわ・ささえあい　シニアネットワークあらい　（社）新井青年会議所　（社）上越国際交流協会　（社）上越青年会議所　（社）高田法人会　（社）奴奈川青年会議所　上越地域活性化機構　新潟 NPO 協会　新潟県災害救援機構　はつらつライフ相談館　ふるさとづくり妙高　前島密くらぶ　街なか映画館再生委員会　マミーズ・ネット　緑とくらしの学校　夢あふれるまち浦川原　ゆめきゃんぱす　暴れん坊「上越・萬燈会」　上越蓮－REN－　大潟町ジュニアリーダークラブ　カラーコラボ　Mu Raco style　くびき野こどもネットワーク　国際フリースクール I CAN　上越マジシャンクラブ　にいがた言友会　ホコ自習館

寄 付 者 一 覧

ご支援いただき ありがとうございます

（敬称略）

株式会社ランドスタッフ

アルコア・ホイール・プロダクツ・ジャパン株式会社

小柳　雄司

大島　誠

秋山　三枝子

平野　通子

小林　純子

ひとくちファンドにご寄附いただいた皆様

第２号議案　平成21年度決算報告

収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

【収入の部】

科　　目	予算	決算	達成率	決算差異（決算－予算）	備考	（単位：千円）
会費収入	5,750,000	4,450,000	77.4	-1,300,000		
個人会員	700,000	580,000	82.9	-120,000	個人116名	580
団体会員	5,050,000	3,870,000	76.6	-1,180,000	NPO等団体64団体	640
					企業109社	3,230
事業収入	13,040,206	9,766,837	74.9	-3,273,369		
自主事業	7,680,000	4,282,895	55.8	-3,397,105		
講師派遣	500,000	240,600	48.1	-259,400	12件	
書籍販売	30,000	5,710	19.0	-24,290		
参加費	1,550,000	433,000	27.9	-1,117,000	ｾﾐﾅｰ 新春大交流会 ﾌｫｰﾗﾑ 他	152 127 104 50
広告料収入	4,500,000	2,918,000	64.8	-1,582,000	NPOPRESS	
その他	1,100,000	685,585	62.3	-414,415	NPOウオッチ編集発行 視察受入 その他	561 83 40
受託事業収入	5,360,206	5,483,942	102.3	123,736		
上越市ボランティア	2,357,941	2,357,941	100.0	0		
地域活動体験コーデ	3,002,000	2,780,001	92.6	-221,999		
新潟出会いサポート	-	346,000	-	346,000		
助成金	500,000	0	0.0	-500,000		
寄付金収入	3,000,000	630,475	21.0	-2,369,525		
雑収入	100,000	690,489	690.5	590,489		
特定求職者雇用開発	0	500,000	-	500,000		
その他	100,000	190,489	190.5	90,489	印刷機使用料 カラーチップ手数料	95 84
当期収入合計	22,390,206	15,537,801	69.4	-6,852,405		
前期繰越	2,897,028	2,897,028	100.0	0		
収入合計	25,287,234	18,434,829	72.9	-6,852,405		

【支出の部】

科　　目	予算	決算	達成率	決算差異 (決算－予算)	備考　(単位：千円)
事業費	16,750,000	13,044,972	77.9	-3,705,028	
市民のNPOへの関心を高める事業	9,600,000	8,272,503	86.2	-1,327,497	内　給与　7,185
NPOPRESS制作	5,500,000	4,121,601	74.9	-1,378,399	制作・取材費、OA経費等
NPOPRESS発送	400,000	355,722	88.9	-44,278	会報紙作成・発送
HP・IT整備	600,000	294,340	49.1	-305,660	HP作成費、OA経費
フォーラム	500,000	86,506	17.3	-413,494	講師謝金、会場費ほか
NPOウオッチ	300,000	704,480	234.8	404,480	編集費、取材費
上越市ボランティア活動支援	2,300,000	2,358,774	102.6	58,774	管理・運営費
新潟出会いサポート	-	351,080	-	351,080	会場費、広報費
市民のNPOへの支援を高める事業	6,100,000	3,801,230	62.3	-2,298,770	内　給与　2,618
市民活動フェスタ	500,000	527,357	105.5	27,357	負担金、事務局費
NPOツアー	300,000	69,180	23.1	-230,820	視察料
ぐるぐるファンド	2,300,000	419,760	18.3	-1,880,240	団体助成、運営費
地域活動体験コーディネーター	3,000,000	2,783,173	92.8	-216,827	人件費、事業費
その他	0	1,760	-	1,760	
地域に自主・自立したNPO法人を増やす事業	750,000	467,591	62.3	-282,409	内　給与　223
NPO法人設立・運営相談	50,000	86,200	172.4	36,200	冊子作成準備
各種講座	300,000	311,939	104.0	11,939	講師謝金、会場費
講師派遣	0	24,520	-	24,520	交通費
協働環境整備	100,000	44,932	44.9	-55,068	調査費
地域の元気	300,000	0	0.0	-300,000	調査費
センター運営に関する事業	300,000	307,858	102.6	7,858	内　給与　46
会報誌発行	200,000	161,731	80.9	-38,269	制作費、郵送費
会員拡大	100,000	146,127	146.1	46,127	会員ﾌﾟﾚｰﾄ制作費、新春大交流会
その他	0	195,790	-	195,790	CGP報告書　内　給与　96
管理費	5,740,000	4,248,403	74.0	-1,491,597	
事務運営会議費	150,000	82,872	55.2	-67,128	会場費、
印刷消耗品費	350,000	271,785	77.7	-78,215	ｺﾋﾟｰ、紙、ｲﾝｸ、文具等
通信費	550,000	418,111	76.0	-131,889	電話、FAX、メール便
給与	1,000,000	308,932	30.9	-691,068	事務局給与費
福利厚生費	1,000,000	879,379	87.9	-120,621	社会保険
研修費	120,000	118,620	98.9	-1,380	
賃借料	1,400,000	1,360,579	97.2	-39,421	事務所、パソコンリース
備品費	200,000	180,783	90.4	-19,217	OA機器等
旅費交通費	200,000	53,946	27.0	-146,054	会議、研修交通費等
光熱費	120,000	120,000	100.0	0	
雑費	200,000	104,396	52.2	-95,604	新聞、書籍、振込手数料等
租税公課	450,000	349,000	77.6	-101,000	均等割、消費税、印紙等
特定預金支出	-	668	-	668	
雑損失	-	130,000	-	130,000	
支出合計	22,490,000	17,424,043	77.5	-5,065,957	
次期繰越収支差額	2,797,234	1,010,786	36.1	-1,786,448	

貸借対照表

2010年 3月31日現在

一般会計　　（単位：円）

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	971,383		
未収金	632,211		
流動資産合計		1,603,594	
固定資産			
その他の固定資産			
電話加入権	76,440		
特定預金	1,004,488		
その他の固定資産合計	1,080,928		
固定資産合計		1,080,928	
資産合計			2,684,522
【負債の部】			
流動負債			
未払金	340,722		
前受金	160,000		
預り金	95,906		
流動負債合計		596,628	
負債合計			596,628
【正味財産の部】			
正味財産			2,087,894
（うち当期正味財産減少額）			(1,885,574)
負債及び正味財産合計			2,684,522

<内訳>

科目		金額	入金日
普通預金	第四銀行　高田営業部1	754,941	
	第四銀行　高田営業部2	2	
	上越信用金庫高田中央支店	45,977	
	ゆうちょ銀行	46,000	
	新潟県労働金庫高田支店	293	
	ゆうちょ銀行（ぐるぐるファンド）	0	
定期預金	第四銀行　高田駅前支店	0	
特定預金	上越信用金庫　高田中央支店	1,004,488	
未収金	県・上越市　受託事業各1件	306,941	
	ぐるぐるﾌｧﾝﾄﾞ運営費	16,500	
	NPO　PRESS広告	214,000	
	個人会員	20,000	4月中回収

科目		金額	支払日
未収金	企業会員	60,000	4月中回収
	ｺﾋﾟｰ代	4,770	
	フェスタ　協賛金	10,000	
未払金	上越タイムス社	146,422	4/20支払
	ｶﾞｿﾘﾝ代	5,640	4/20支払
	ﾌｧﾝﾄﾞ　寄付金	177,000	
	ﾌｫｰﾗﾑ	8,500	4/27支払・5/6引落
	ﾎﾟﾗｾﾝ　印刷機	3,160	4/20支払
前受金	個人会費	20,000	22年度会費収入
	NPO PRESS広告	140,000	22年度分
預り金	源泉所得税	19,460	1-3月分
	高土町事務所家賃	76446	

正味財産増減計算書

2009年 4月 1日から2010年 3月31日まで

一般会計　　（単位：円）

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
特定預金増加額	668	668	
負債減少額			
増加額合計			668
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	1,886,242	1,886,242	
負債増加額			
減少額合計			1,886,242
当期正味財産減少額			1,885,574
前期 繰越正味財産額			3,973,468
期末正味財産合計額			2,087,894

監査報告

私は、特定非営利活動法人くびき野ＮＰＯサポートセンターの平成 21 年度（平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで）の計算書類すなわち貸借対照表、収支計算書及び正味財産増減計算書について監査を実施した。

監査は、現金及び預金の実査、総勘定元帳並びに証憑書類の通査、経理責任者等への質問等の方法で行った。

監査の結果、上記の計算書類は、適正な証拠により作成された総勘定元帳に基づき、正確であることを認める。また、現金及び預金等の財産は適正に保管され、総勘定元帳並びに証憑書類も整然と整理されていたことを報告する。

平成 22 年 5 月 12 日

特定非営利活動法人くびき野ＮＰＯサポートセンター

監事　大原啓資

第３号議案　平成22年度事業案

事業実施の方針

（１）「新しい公共」という言葉に代表されるように、ＮＰＯの社会的役割がますます大きくなる中、その担い手となる人材を育成する。

（２）民間主導によるＮＰＯ法人会計基準作成、政府によるＮＰＯ支援税制の大幅拡充など、制度が大きく変化する兆しが見られる。地域のみならず県域のＮＰＯに対して情報発信し、学習会などを開催することにより新制度への素早い対応を促す。

重点項目として、

①ＮＰＯの担い手育成　②ＮＰＯ法人会計基準や認定ＮＰＯ法人制度、税制に関する講座の開催　③会員の維持と拡大　④ＮＰＯ・ボランティア活動団体実態調査　⑤ひとくちファンドの普及による寄付文化の醸成

事業名	詳細／目標	予定日・対象	予算額（千円）
市民のNPOへの関心を高める事業			7,800
NPO PRESS制作	目標：広告訪問件数1200件、年間広告400万円 ・活動に役立つ知識や情報などに関する連載コーナーを設け、紙面連載後、同テーマの講座を開催するなど、他事業との連携した紙面づくり。 ・情報量の少ない糸魚川市に情報提供者を複数確保し、情報収集を図る。 協賛広告：挨拶回り、営業訪問を強化し、PRESS広告および社会貢献としてのNPO支援を働きかける。	・上越タイムス紙面、毎月曜、４～7面 ・全市民	4,000
NPO PRESS 全国発送	・全国各地のNPOや助成団体等に情報を発信するとともに、情報を取得することで紙面を充実させる。 ・費用対効果を見直し、発送先を精査する。 ・全国的なネットワークづくりと維持。	120箇所×46回/年、全国の支援センター、財団法人、企業の社会貢献室	400
ＷＥＢによる ＮＰＯ情報発信	数値目標：年間訪問者15,000人 団体データベースへ30団体以上を登録引き続き、最新のＮＰＯ情報を発信していく。また、地域のＮＰＯ団体の情報が閲覧できる「団体データベース」機能を整備する。	・通年：情報更新 ・５月ＤＢリンク作業開始 ７月ＤＢ構築	100
フォーラム	7月24日に（財）助成財団センターＮＰＯ支援財団研究会との共催でシンポジウムを開催。地方で活動するＮＰＯや市民活動団体が、全国規模の民間助成団体と意見交換を行い、相互理解を深めるとともに今後の活動につながるネットワークの構築を図る	７月２４日開催 会場：三条市	150
上越市ボランティア 活動支援事業	数値目標：ボランティアコーディネート400件 引き続きボランティア相談とコーディネート、ボランティア・ニーズ調査を実施。その他NPO・ボランティアセンター団体登録に付随する管理を行なう。 ボランティア体験（預かりボランティア）やボランティアセンターからの情報発信などは本体の独自事業に移行させ展開する。	・22.4.1～23.3.31 上越市市民ﾌﾟﾗｻﾞNPOﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ ・上越市民、上越市で活動するNPO団体、企業、学校など。	2,550
◎　ＮＰＯ・ボランティア活動団体実態調査	地域で活動するＮＰＯ・ボランティア団体の最新情報や実態を把握し、市民活動の促進に向け、市民に対してＮＰＯ・ボランティア団体の情報を提供していく。 また、市民活動促進する際の基礎資料とする。	上越市、糸魚川市、妙高市で1,000団体（うち一般への情報公開300件）を予定。 平成22年4月から10月まで	300
冊子作成	市民に対し、ＮＰＯ・ボランティア団体の情報を提供していくことを目的にＮＰＯ・ボランティアハンドブックの最新版を制作する。団体情報については上記調査事業の成果物を使用する。	12月発行予定。 80項　1,000部	300
市民のNPOへの支援を高める事業			4,410
くびき野市民活動 フェスタ	数値目標：参加50団体 参加団体の減少への歯止めとマンネリ化の解消に向け、フェスタの方向性、開催方法を抜本的に見直す。またＰＲ方法についても再度、実行委員会で検討する。 ・参加型プログラムのみによるフェスタなど	4月～10月　実行委員会 8月～9月中　事業実施 ・NPO法人,市民活動団体,市民	300
ＮＰＯツアー	参加募集型を改め、企画をもとに企業や各種団体、行政などに実施を働きかける。当センターの視察受け入れのメニューとしても呼びかける。	随時 ・市民、企業、行政	30
◎　ぐるぐるファンド	【ひとくちファンド】 今年同様にＰＲパンフレットを作成し、総額100万円を目指す。 【冠ファンド】 年度目標は立てず、PRのみ。 【おまかせファンド】 NPOスタッフ育成研修費等で20万円の助成を目指す。	7月～ひとくちファンド開始 選考年間を通じて寄付者開拓の活動。	800

地域活動体験 コーディネーター事業	目標：くびき野地域の全学校への調査 　　年間コーディネート数　40件　500名県から受託。くびき野地域に地域活動体験コーディネーター設置し、コーディネート活動、プログラムの広報等を行う。 昨年に引き続き、小・中学校を対象に調査を実施。	７月.12月広報誌発行 11月交流会 １月情報誌発行	3,280
地域に自主・自立したNPO法人を増やす事業			**10,750**
法人設立、運営相談	NPOの事業拡大に伴い、増えることが予想される専門的な相談に対応するために各種専門家とのネットワーク構築を検討する。 また、相談対応ができるスタッフを１名から３名に増やすため、スタッフの研修を行なう。	６月～スタッフ研修 NPO団体、NPO法人	100
◎　講座	・年間を通じて出前講座を行う ・予定「ＮＰＯ法人会計基準　学習会」 　　「ＮＰＯ新税制と認定ＮＰＯ法人制度」 　　見積書作成講座	８月「ＮＰＯ法人会計基準学習会」 １０月「ＮＰＯ新税制と認定ＮＰＯ法人制度」	150
講師派遣	数値目標：20件の派遣 サポートセンター関係者の講師派遣を進める。	随時 ・市民、企業、行政、NPO団体	30
協働環境の整備	ＮＰＯ団体の多くが、行政からの事業を受ける中、その見積もりにおいて直接経費のみが計上されており、間接経費部分は団体の負担となっているケースが大半。この状況の改善に向け、行政も交えた意見交換会を開催する。また「講座事業」において基本的な経費の見積もり方などを研修。	10月：ＮＰＯの意見交換会	50
◎　「新しい公共」の担い手育成	「緊急雇用創出臨時特例交付金」を活用し、ＮＰＯ法人など域・社会の課題を解決するためＮＰＯ法人等で社会的な役割を担っていけるような人材を育成、組織基盤の強化を図る。 研修スタッフ３人を雇用し、１０ヶ月間、当センターの業務を中心にしながら、座学、外部研修などにより必要な技術を取得する。	■募集 県内より。 ■期間 平成22年6月から3月末まで	10,420
くびき野NPOサポートセンターの運営に関する事業			**450**
会報「雁木のように」発行	目標：年6回発行する。 配布先も会員にとらわれず、ネットワークを通じて多様な場に配布し、日常的に目に留まるようにしていく。	年６回発行 ・会員及び一般	200
◎　会員拡大	会員目標：個人会員120、団体会員80、企業会員120	6月　会員拡大期間 1月　会員向け交流会開催 ・個人、企業、団体	100
総会	年１回	5月　・全会員	100
理事会	年間６回	理事	50
		事業予算合計	**23,610**
他団体主催の事業、会議への参加			
市民団体	くびき野こどもネットワーク		
民間	ユートピアくびき振興財団　評議員、助成金等審査員		
	社会福祉法人さくら園　理事		
	上越市市民プラザ全体運営委員会　委員		
	社会福祉法人りとるらいふ　評議員		
	社会福祉法人上越市社会福祉協議会　理事		
上越市	上越市社会教育委員　／　上越市公民館運営審議委員		
	上越市障害者自立支援協議会　委員		
	上越市新年祝賀会実行委員会　委員		
	上越市表彰審査会　委員		
県内	新潟県公益認定等審議会　委員		
	新潟県公共事業再評価委員会　委員		
	新潟県勤労者福祉厚生財団　NPO等助成事業選考委員		
	妙高市地域の元気づくり活動助成事業　審査員		
全国	ＮＰＯ／ＮＧＯ法制度に関する連絡会 地域幹事団体		
	ＮＰＯ会計基準協議会　世話団体		
	日本ＮＰＯセンター　理事		

第４号議案　平成２２年度予算案

平成22年4月1日～平成23年3月31日

【収入の部】

科　　目	21年予算	21年決算	22年予算	備考	(単位：千円)
会費収入	5,750,000	4,450,000	5,000,000		
個人会員	700,000	580,000	600,000	個人120	
団体会員	5,050,000	3,870,000	4,400,000	団体80	800
				企業120	3,600
事業収入	13,040,206	9,766,837	21,649,933		
自主事業	7,680,000	4,282,895	5,100,000		
講師派遣	500,000	240,600	300,000		
書籍販売	30,000	5,710	120,000	ボランティアハンドブック	
参加費	1,550,000	433,000	500,000	各種講座	350
				フォーラム	150
広告料収入	4,500,000	2,918,000	4,000,000	NPOPRESS	
その他	1,100,000	685,585	180,000	視察受入	100
				ファンド運営費	80
受託事業収入	5,360,206	5,483,942	16,549,933		
上越市ボランティア	2,357,941	2,357,941	2,549,355		
地域活動体験コーディネーター	3,002,000	2,780,001	3,276,801		
NPO・ボランティア団体活動実態調査	－	－	298,855		
「新しい公共」担い手人材育成	－	－	10,424,922		
新潟出会いサポート	0	346,000			
助成金	500,000	0	200,000		
寄付金収入	3,000,000	630,475	1,300,000		
				センター本体	500
				ぐるぐるファンド	800
雑収入	100,000	690,489	100,000		
当期収入合計	22,390,206	15,537,801	28,249,933		
前期繰越	2,897,028	2,897,028	1,010,786		
収入合計	25,287,234	18,434,829	29,260,719		

【支出の部】

科　　目	21年度予算	21年度決算	22年度予算	
事業費	16,750,000	13,044,972	23,259,933	
市民のNPOへの関心を高める事業			7,798,210	
NPOPRESS制作	5,500,000	4,121,601	4,000,000	制作・取材費等
NPOPRESS発送	400,000	355,722	400,000	発送
HP・IT整備	600,000	294,340	100,000	HP更新
フォーラム	500,000	86,506	150,000	講師謝金、会場費ほか
NPOウオッチ	300,000	704,480	0	
上越市ボランティア活動支援	2,300,000	2,358,774	2,549,355	管理・運営費
新潟出会いサポート	0	351,080	0	
冊子作成	－	－	300,000	ボランティアハンドブック
NPO・ボランティア団体活動実態調査	－	－	298,855	
市民のNPOへの支援を高める事業			4,406,801	
市民活動フェスタ	500,000	527,357	300,000	負担金、事務局費
NPOツアー	300,000	69,180	30,000	企画開発
ぐるぐるファンド	2,300,000	421,520	800,000	団体助成、運営費
地域活動体験コーディネーター	3,000,000	2,783,173	3,276,801	コーディネーター人件費、事業費
地域に自主・自立したNPO法人を増やす事業			10,754,922	
NPO法人設立・運営相談	50,000	86,200	100,000	相談業務
各種講座	300,000	311,939	150,000	講師謝金、会場費
講師派遣	0	24,520	30,000	交通費等
協働環境整備	100,000	44,932	50,000	意見交換等
「新しい公共」担い手人材育成	－	－	10,424,922	人件費、事業費
地域の元気	300,000	0	0	
センター運営に関する事業			300,000	
会報誌発行	200,000	161,731	200,000	制作費、郵送費
会員拡大	100,000	146,127	100,000	会員プレート制作費
その他	0	195,790	0	
管理費	5,740,000	4,248,403	4,860,000	
事務運営会議費	150,000	82,872	120,000	会場費、
印刷消耗品費	350,000	271,785	300,000	ｺﾋﾟｰ、紙、ｲﾝｸ、文具等
通信費	550,000	418,111	500,000	電話、FAX、メール便
給与	1,000,000	308,932	500,000	事務局給与費
福利厚生費	1,000,000	879,379	1,000,000	社会保険
研修費	120,000	118,620	100,000	
賃借料	1,400,000	1,360,579	1,400,000	事務所、パソコンリース
備品費	200,000	180,783	200,000	OA機器等
旅費交通費	200,000	53,946	100,000	会議、研修交通費等
光熱費	120,000	120,000	120,000	
雑費	200,000	104,396	120,000	新聞、書籍、振込手数料等
租税公課	450,000	349,000	400,000	法人税、消費税、印紙等
特定預金支出	0	668	0	
雑損失	0	130,000	0	
支出合計	22,490,000	17,424,043	28,119,933	
次期繰越収支差額	2,797,234	1,010,786	1,140,786	

2009年（平成21年） 4月8日（水曜日）

NPO団体の活動紹介パネルに見入る人も（ジャスコ上越店・アコーレセントラルコートで）

定額給付金で地域貢献を

くびき野NPOサポートセンター 寄付を呼びかけ

四月下旬定額給付金受けた際、寄付者に対する税制上の優遇を可能とし、制度を活用して市民活動団体への寄付を後押しし、寄付者の思いを地域へ還元するシステム「くるくるファンド」を考案、今回の取り組みも同ファンドの一環と位置付けている。

同NPOの会員となっている福祉、まちづくり、環境保全など市内外の六十七団体を中心に、パンフレットを製作。振込用紙も添えて定額給付金からの寄付を呼びかけた。近藤尚仁事務局長は「もともと寄付をしない文化ではない。PRする機会をつくり、寄付するというのハードルを下げたい」と話す。

現場で直接現金を寄付した牧区の横山武さん（79）はNPO団体への寄付は初めてという。「市民のための活動に使ってもらえれば」と期待を話していた。

くるくるファンドキャンペーンは六月三十日まで。直接の持ち込みも受け付けている。指定のない寄付は同NPOで選考する。戸別訪問や電話による勧誘は行っていない。問い合わせは同NPO（☎・225・5522・6633）へ。

(1) 第9401号（1ヵ月2,100円・1部100円消費税込） 2009年（平成21年） 9月24日（水曜日）

上越タイムス

発行所：㈱上越タイムス社／本社：〒943-0823上越市高士町2-4-6
TEL025-525-6666代 FAX025-525-6603 支局：妙高・糸魚川・赤倉
郵便振替口座：00610-6-15050（昭和55年12月18日第三種郵便物認可）
0120-17-4243
メール times@joetsu.ne.jp

10年の"市民力"実感

くびき野市民活動フェスタ 手作りの催し集結

上越地域の「市民力」の祭典「くびき野市民活動フェスタ2009」は三日、メーン日を迎え、上越市一帯の同市民プラザで「王様の催し」と名付けられた会場には親子連れら多くの市民が訪れ、市民手作りの催しをみんなで楽しんでいた。

同実行委とくびき野NPOサポートセンターが主催し、平成十二年に始まった同フェスタ。十年目の今年は八月八日に開幕し、これまで十二の催しが開かれていた。

メーン日のこの日は、市民プラザ全館を使ってNPO法人や市民団体による催しが開かれた。木工教室や親子クッキング、自転車発電ほか科学実験などが多く、参加した市民と企画した市民がともに楽しむ姿があちこちで見られた。「小さな一歩が生み出す大きな力」を実感した様子で、今後も市民活動の輪の広がりを期待させる内容となった。

町屋隆之実行委員長は「この十年で市民活動が特別な存在ではなくなった。みんなでかかわることの大切さを感じてもらえたはず」と、同フェスタの意義を強調した。

同フェスタは二七日まで。中ノ俣花ミュージアムの刺繍り体験と映画鑑賞会が予定されている。問い合わせは事務局のNPOサポートセンター（電0255・522・6633）へ。

開店直後から大にぎわいだったフリーマーケット。交流とともにリサイクルの大切さに触れた

最も身近な文化『食』を通じて国際理解を深めた

学校と地域をつなぐ情報交換会

活動事例を紹介

NPO法人が子どもたちに、より地域を知ってほしいと行っている活動の事例を紹介する「学校と地域をつなぐ情報交換会」がこのほど、上越市土橋の市民プラザで開かれ、約四十人が集まった＝写真。

「こども＋NPO＝まちづくり」と題し、くびき野NPOサポートセンターは県からの委託を受け、上越、妙高、糸魚川の三市で実施されているNPO団体の体験プログラムやボランティア活動などを情報発信する。子どもと地域を市民活動でつなぐ「地域活動体験コーディネーター設置事業」に取り組んでいる。

NPO法人日本自然学習実践センター里山学校の植松和彦さんは、同法人が管理運営する知城区の大池いこいの森ビジターセンターやビオトープを活用した学校への環境学習と総合的学習支援について発表した。大池の自然を生かした遊びを通じて児童が里山に親しむ重要性を感じていく過程を話したり、計画を立てる際、学校と事前に打ち合わせるなど日常的に連携し意思疎通を図る必要性を伝えたりした。

妙高市出身のNPO法人コドモ・ウカモノまちline代表理事の星野論さんとNPO法人新潟県災害救援機構の淡路幸二理事が考えている思いや活動を話した。

メディアによる
当センター事業の紹介記

2009年（平成21年） 10月12日（月曜日）

東大の研究会で講演

"協働紙面"テーマに

新聞社や一般関係者も多く参加し研究会で講演する秋山理事長

くびき野NPOサポートセンター集局長（59）は七日、東京大本郷キャンパスで行われた「メディア研究のつどい」に招かれた。毎週曜日の本紙に組み込まれている「NPOPR ESS」について、それぞれの立場で取り組みの背景や成果などを紹介した。

このつどいはジャーナリズム研究の第一人者である林香里教授（同大学院情報学環）の研究室が不定期に開いているもので、報道機関に勤務する博士課程の畑仲哲雄さん（48）がプロジェクトリーダーを務めている。今回のテーマは「新聞社×NPO協働の可能性」。本紙が四ページを無償提供し、NPOが独自編集している紙面ほか高い関心が寄せられ、山田編集局長は「新聞社の立て直しのために来られた若い社長の指導を受け、社員が意識改革や紙面刷新につとめ、月曜休刊から完全日刊に移行。月曜紙面の一部をサポートセンターに任せたことで、新聞の評価が高まり、部数増、業績アップにつながることができた」と経緯を説明。

「活動しながら発信し、てくるNPOの記事は、思いや熱意が伝わり、共感の輪を広げ、市民活動を活発にした。記者たちの良い刺激になった。新聞づくりのすばらしいパートナーを得た」とたえた。

秋山理事長は「原稿料がなく、最初はボランティアで続く新聞の記事を書くのは釈然としなかったが、編集ページが増えるのに合わせるように規模が拡大し、九人の有給スタッフを抱えるようになった。締め切りに追われるように記事づくり、レイアウト、広告営業をこなし、短期間に大きな力が身わった。NPOの普及活動にとっての希望ではないか」とコメントした。

新聞社との協働を評価し「今では県内で最もNPO法人が多い地域になった。これからはNPO日本一のまちをめざしたい」と熱く語った。

いくつかの質疑があった後、閉会のあいさつの中で林教授は「新聞を一つのまちをめざしたい」と熱く語った。

「今では県内で最もNPO法人が多い地域になった。これからはNPO日本一のまちをめざしたい」と熱く語った。

閉会のあいさつの中で林教授は「新聞をテーマにしてこんなに楽しく、明るい会はあったろうか。参考になった」と、現代社会を見る窓口として示唆的な話だった」と述べ、畑仲氏は「東京のメディア関係者に良い意味で大きな刺激を与えたと思う。書店にはいま『新聞が消える』などのタイトルの本が多く並ぶが、上越の成功例はひとつの希望ではないか」とコメントした。

第3種郵便物認可 （日刊） 新潟日

自治体、学校、NPO法人、社会福祉法人―。社章に限らず、所属を示すバッジはほかにもたくさんある。"仲間"意識を高めてくれる証しをピックアップし、それぞれのデザインに込められた由来や特徴などをまとめてみた。

胸元飾る"仲間"の証し

くびき野NPOサポートセンター

フォーラム開催時に登場

市民活動を支援するNPO法人「くびき野NPOサポートセンター」（上越市）のバッジは、前方後円墳にも似た特徴の形が目を引く。青が日本海、緑は頸城平野、手をつなぐ人でネットワークをそれぞれ表現。アルファベット、日本語の2パターンで法人名を表記した理由は、「とにかく名前を知ってもらいたくて」と秋山三枝子理事長（59）は笑う。

1999年の設立時にデザインされ、スタッフがフォーラムや講座の開催のたびに身に着けてきた。「当時はNPOも知られていなかったので、物珍しがられました」。職員以外でも、千円の寄付でバッジを受け取ることができる。

■くびき野NPOサポートセンター 0255（522）6633

社章 団体のバッジ

働きたくても職に就くのが難しい不況の時代。厳しい就職戦線を経て入社する人にとって仕事への意欲はひとしおだろう。そんな社会人としての事を感じさせてくれるアイテムの一つが「社章」だ。わずか1センチほどの金属板ながら、色や形、文字などを組み合わせたデザインはさまざま。企業の理念や思いが凝縮された社章をはじめ、ユニークな姿が際立つ県内団体のバッジを紹介する。（学芸部・金子浩）